

聖霊降臨後第15主日特禱（特定20）

憐れみ深い全能の神よ、どうか主の豊かな恵みによって、すべての害あるものから守ってください。身体と魂とに備えをし、あなたのみ心の思いを喜んで成し遂げることができま
すように、父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリス
トによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 アモス書 8章4-7, 《8-12》節

4 このことを聞け。

貧しい者を踏みつけ

苦しむ農民を押さえつける者たちよ。

5 お前たちは言う。「新月祭はいつ終わるのか、穀物を売りたいものだ。安息日はいつ
終わるのか、麦を売り尽くしたいものだ。エファ升は小さくし、分銅は重くし、偽りの天
秤を使ってごまかそう。 6 弱い者を金で、貧しい者を靴一足の値で買い取ろう。また、く
ず麦を売ろう。」

7 主はヤコブの誇りにかけて誓われる。

「わたしは、彼らが行ったすべてのことを
いつまでも忘れない。」

詩 編 第138 編

- 1 神よ、わたしたちは心を尽くしてあなたに感謝し // もろもろの神の前であなたをた
たえる
- 2 あなたの尊い宮に向かってひれ伏し、慈しみとまことのゆえにみ名に感謝を献げる //
あなたは約束を果たし、み名をすべてにまさるものとされた
- 3 わたしが叫びを上げたとき、あなたは答え // わたしの魂の中に力を増してくださっ
た
- 4 主よ、国々の王はあなたに感謝を献げる // あなたのみ言葉を聞いたから
- 5 彼らは主のみ業を喜び歌う // 「主の栄光は偉大」と
- 6 いと高き主は、へりくだる人に心を留め // 高ぶる者には近づかれない
- 7 苦しみの中にあるときも、あなたはわたしの命を支えられる // み手を延ばして敵の
怒りを退け、右のみ手でわたしを救われる
- 8 主は、わたしに約束されたことを、すべて成し遂げられる // 主よ、あなたの慈しみ
は永遠、み手の業を見捨てないでください

使徒書 テモテへの手紙一 2章1-8節

1 そこで、まず第一に勧めます。願いと祈りと執り成しと感謝とをすべての人々のためにささげなさい。 2 王たちやすべての高官のためにもささげなさい。わたしたちが常に信心と品位を保ち、平穏で落ち着いた生活を送るためです。 3 これは、わたしたちの救い主である神の御前に良いことであり、喜ばれることです。 4 神は、すべての人々が救われて真理を知るようになることを望んでおられます。 5 神は唯一であり、神と人との間の仲介者も、人であるキリスト・イエスただおひとりなのです。 6 この方はすべての人の贖いとして御自身を献げられました。これは定められた時になされた証しです。 7 わたしは、その証しのために宣教者また使徒として、すなわち異邦人に信仰と真理を説く教師として任命されたのです。わたしは真実を語っており、偽りは言っていません。

8 だから、わたしが望むのは、男は怒らず争わず、清い手を上げてどこでも祈ることです。

福音書 ルカによる福音書 16章 1-13 節

1 イエスは、弟子たちにも次のように言われた。「ある金持ちに一人の管理人がいた。この男が主人の財産を無駄遣いしていると、告げ口をする者があった。 2 そこで、主人は彼を呼びつけて言った。『お前について聞いていることがあるが、どうなのか。会計の報告を出しなさい。もう管理を任せておくわけにはいかない。』 3 管理人は考えた。『どうしようか。主人はわたしから管理の仕事を取り上げようとしている。土を掘る力もないし、物乞いをするのも恥ずかしい。 4 そうだ。こうしよう。管理の仕事をやめさせられても、自分を家に迎えてくれるような者たちを作ればいいのだ。』 5 そこで、管理人は主人に借りのある者を一人一人呼んで、まず最初の人に、『わたしの主人にいくら借りがあるのか』と言った。 6 『油百バトス』と言うと、管理人は言った。『これがあなたの証文だ。急いで、腰を掛けて、五十バトスと書き直しなさい。』 7 また別の人には、『あなたは、いくら借りがあるのか』と言った。『小麦百コロス』と言うと、管理人は言った。『これがあなたの証文だ。八十コロスと書き直しなさい。』 8 主人は、この不正な管理人の抜け目のないやり方をほめた。この世の子らは、自分の仲間に対して、光の子らよりも賢くふるまっている。 9 そこで、わたしは言うておくが、不正にまみれた富で友達を作りなさい。そうしておけば、金がなくなったとき、あなたがたは永遠の住まいに迎え入れてもらえる。 10 ごく小さな事に忠実な者は、大きな事にも忠実である。ごく小さな事に不忠実な者は、大きな事にも不忠実である。 11 だから、不正にまみれた富について忠実でなければ、だれがあなたがたに本当に価値あるものを任せるだろうか。 12 また、他人のものについて忠実でなければ、だれがあなたがたのものを与えてくれるだろうか。 13 どんな召し使いも二人の主人に仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。」